

観光社会資本の事例

テーマ	地域の交流拠点として親しまれる二戸合同庁舎（二戸シビックコア地区）
[施設の状況写真]  二戸合同庁舎は、二戸市内に点在した5つの官署を集約・合同化させ、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る目的で二戸シビックコア地区に建設された合同庁舎です。 二戸シビックコア地区は、北岩手の中心都市にふさわしい高度な都市・行政サービスと文化交流機能の一体整備を目指した地区であり、自然に恵まれた二戸の特性を生かして、「水」と「緑」と「アート」をまちづくりのテーマとしています。	
[施設の利用写真]  隣接の公共施設と相互連携した空間でのイベント等  日常の休憩・散策等の場として利用される多目的広場	
[観光資源としての利用状況] 岩手県内陸部の北端に位置する二戸市の新しい広域行政拠点として整備された「二戸シビックコア地区」は二戸合同庁舎、岩手県二戸合同庁舎、二戸市シビックセンター、二戸市スポーツセンター等と機能を分担しつつそれぞれの連携をはかりながら、良好な景観形成と都市空間の賑わいとゆとりのある空間を創出しています。正面には多目的広場が整備され、二戸市の産業まつりや市（いち）の会場としても利用されるなど、地域の新たな交流拠点として多くの市民に親しまれています。二戸市シビックセンターは、地域情報センター、世界的グラフィックデザイナーの福田繁雄氏の作品を展示しているデザイン館、子供達の実験や工作を通じて学ぶことができる田中館愛橘記念科学館等のほか、カルチャールームなどを備えている市民交流施設です。	

テーマ	地域の交流拠点として親しまれる二戸合同庁舎 (二戸シビックコア地区)
[社会資本の基礎データ]	
○名称	二戸合同庁舎
○所在地	岩手県二戸市石切所字狼穴33-1
○事業名	官庁営繕事業
○事業主体	東北地方整備局
○事業期間	平成11年 (完成)
[社会資本の役割・効果]	
二戸シビックコア地区は国・県・市などの官庁施設を核とし、民間施設も含めた新たな街づくりを進めてきた地区です。この事業計画は国土交通省が推進する「シビックコア地区整備制度」を東北管内で初めて活用したものです。 「二戸らしい、水と緑とアートのある、賑わいの空間づくり」をコンセプトとして、馬淵川の景観、街路や広場を彩る木々による潤い、二戸にゆかりのある造形作家によるアートなどにより、良好な景観形成と地区の一体整備を目指し、高度都市・行政サービス・文化交流等の拠点となる機能の導入で、北岩手の中心都市としてふさわしい地区整備を進めてきました。 また、平成 14 年には東北新幹線二戸駅が開業したことにより、交通の結節点としての新たな役割も期待されています。	
[位置図]	
[関連ホームページ] 国土交通省東北地方整備局 http://www.thr.mlit.go.jp/ 二戸市シビックセンター http://www.civic.ninohe.iwate.jp	